

## イベント参加レポート

### ～第20回「台所・お風呂の川柳」表彰式典～

2024年11月12日  
一般財団法人ベターリビング

キッチン・バス工業会は11月2日を「キッチン・バスの日」と定め、その普及活動の一環として「台所・お風呂の川柳」を募集してきました。この活動は今年で第20回を迎え、これまでに多くの川柳が世に送り出されてきましたが、今回をもって最終回となります。

今年の応募総数は37,222句にのぼり、時事を反映した句や、思わず笑みがこぼれるユーモラスな句、家族愛あふれる心温まる句など、様々な作品が寄せられました。当財団の眞鍋純理事長も参加した選考会で熟慮の末に選定作を決定し、11月1日に大賞から各団体賞までの24作品が表彰されました。

「キッチン・バス大賞」には、むーむー様の作品「リフォームし もっと生きたく なる」が選ばれました。むーむー様は受賞後のスピーチで、母の介護をきっかけに自宅をリフォームした際、「将来、自分もリフォームをしたら、住みやすくなった家で、もっと生きたいと感じるのでは」と考えたことがきっかけとなり生まれた句であると説明されました。さらに、「住む人がもっと生きたいと思えるようなリフォームこそが、本当に意義あるものだと思う」とも話されました。

また、「ベターリビング賞」として、人生におけるリフォームの価値を表現した、すみれ様の作品「リフォームで 始まる家族の 第二章」を選ばせていただきました。

当財団では、本年3月に策定した中期計画において、人生100年時代を迎えるなか、良好な温熱環境の実現、防災機能の向上、施工の省力化に資する部品等の新たな視点を消費者に提供し、より快適な暮らしと、そのための取替・リフォーム促進に貢献していくことを打ち出しました。大賞とベターリビング賞の受賞作品には、当財団の目指すところと軌を一にするものとして票を投じさせていただきました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

その他の表彰作品は[こちら](#)から。



ベターリビング賞を受賞されたすみれ様と眞鍋理事長

なお、来年からは小学生以下のお子様を対象とした「くらしの絵日記」を募集する予定であり、その詳細は2025年5月にキッチン・バス工業会のホームページ (<https://www.kitchen-bath.jp>) などでお知らせいたします。